

事業所名

放課後等デイサービス 星の王子

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

3日

法人（事業所）理念		”大切なことは心で見ること”をモットーに、子どもたち一人ひとりの「好き」や「才能」を伸ばし、お互いの個性を認め合う笑顔あふれる居心地の良い場所を目指します								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの気持ちに寄り添い、安心して自分らしく過ごせる居場所作り 子どもたち一人ひとりに合わせた生活支援 								
営業時間		平日 土日・祝・長期休暇	15 10時	0 0分	から	18 17時	0 0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整え、健康的に過ごせるよう支援を行う 基本的な体調管理に加え、子どもの特性や発達の状態に配慮しながら心身の状態を確認し、異変に素早く気づき、対応を行う 基本的な生活スキル獲得のため、身支度や荷物の管理、手洗い等の支援を行う 子どもに合わせた食事支援、排泄支援の実施 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの子ども感覚や運動機能に合わせた活動設定を行い、楽しみながら参加をし自分の身体や手先の使い方のコツを知る（散歩、ボール遊び、鬼ごっこ、シール貼り、アイロンビーズ、パズル、工作等） 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの認知の特性の理解、把握に努め、自分に入ってくる情報をスムーズに処理できるよう支援を行う（自己理解） 視覚、聴覚、触覚等を認知できるようになる活動プログラムの実施（シール貼り、パズル、音楽、調理、お金の計算、製作等） 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 自身に合った表現方法で意思疎通が出来るよう支援を行う（言語、非言語） 自分の気持ちや意思に気付けるよう、一人ひとりの発するサインの理解、受容 他者との関わりを通し、相手の気持ちも理解できるよう支援を行う 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる関係性の構築に努め、自分らしく過ごせるとともに自分の気持ちを自分から発信できる環境設定の整備を行う（人間関係） 同じ興味、遊びを共有できる小グループから自身あったコミュニケーション方法で場面の共有ができるようになる（社会性） 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や連絡帳を通しご家庭での様子も共有し、一緒に同じ方向を向いて支援、子育てができる関係性作りと相談援助の実施 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 切り替え部分では本人・保護者との相談援助の実施 事業内では本人がこの先のビジョンが持てる支援 希望に応じて移行先との支援方法、支援過程の共有 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 統一した支援が行えるよう通学先の学校の教員やコーディネーター、地域の支援センター、相談支援専門員、併用している他事業所の担当との連携の実施 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 研修計画の基づき計画的に実施し、職員の質の向上に努めます 虐待防止、感染症対策、防災訓練、BCP、SST、ケース会議、事例検討等 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> イースター・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・節分・バレンタイン・卒業を祝う会・固定曜日での調理レク・土日・祝・長期休暇中の外出活動（公園、買い物、外食等） ※子どもの特性に合わせてそれぞれが参加できる範囲で実施 								